仇手本
後編

通神浪枕

完

二

北斎画

7 13
1963
39

仕懸幕莫

伝手本 前編

初段より六段目まくらふ川のせうひよりなりひよび出し九段目とうぐり

伝手本後編

通神蔵

七段目くるま一段めきよりうらのせうひおやぢくんちんのまくざとなり

両冊とも 本賣出し中 五十二番

写

二

旬ものの

海うくひを酒ぶ屋にかふ

ちやふ屋酒屋の新をふる

ちらしられぬ中の町海でけるぬ

ぬ本をあきなう奥ち屋海の海

とやとやとやいうあ海のとふ

1963
39

嘆ふ可きあり濁りて国を損
ずるの濁りとかるる人自ずから
なるものもあり うるの法の誠の
雲言の海に落ちふるを知らず
機を入れ解ふ仏の心を言し
紀元おふらん全感を考へ

豈雲霧なる塔を得んや
仏縁の言葉は誠をひろ豈ふ
ちひろふあいて蜀きて来
大日の寂光雲うゝ出でゝ
戯作なる新の法ふ蓮
其仏仏ゝ本来一新

戯れ〳〵月雪花

小金あいな絵

序

柱言伎語ハ三歩傾城乃ちんまーて
太夫ぞきんぐきれ名よりれ合羽りん
しきのしび巡あ出ハものぐりよ姫傾城有
仲の町乃楊ぬ花道よハ袖とゝも場のちん
ぞ〳〵うと紋日の相談よハつんぼぐ〳〵きの

はゝ耳ゆけらせうづゝハ小夜中は
床まうりそふゝハ髪よ結いせ俄の
ぶいぐそ〜ゑ三舘目とてけし
まふ見ぐそ見きまとり仕うゑ八朝乃
中の町そ雪ぎ〜ゑのそやかりはて
幕ちの居續よきちとけこが祢

ありため〜此さまけぶ事と
おうるがのぐ鏡て五里とうつゝゑ
其いうゝあきをつりふゝのけり
とかきくゝあるれ宿と
うづちくゝさおきみせうゆかきゑた
俗多本通神義と大名題よあゝく

せーとやいろとおんよみくとさる事

去ゝうり

山旭亭 まさ〻西きさ述

第七回

仲之町一力樓醉狂ノ妻

一文字樓傾城手管ノ世界

姉妓

香留川

東在人 北斗筆

第八回

船中詠富士晒落話
於素瀬小波ヲ雪中行

女中
於素勢

第九回

向嶌由良之丞別荘ヲ二婦尋
本藏氣轉料理之世界

奥作
麦古川

第十回

揚屋町妓女持儀兵衛ガ宅
由良ガ實心於國ヲ救世界

妓子屋
儀平

第十一回

夜中ノ煤掃高野屋直隱
大星頓知達本望世界

高野屋
直右衛門

附言

忠臣義の淳ゐりてりとづれ大星ぐすぐこちられ
我臣とのらん若恵の二ツ巴定九ら横ち恵
紋布れ金よ財をとすも元文歌の二ツ丸
うんてのりしまくてれ世界若悪邪ぬれ相ちき
ぞよふとよせさとしからんがたのさられとまよ
あぞらへへ恵とさし若成そもむるの
一助ならんう

仇手本
後編 通新戯 小金あつ丸 著

七回 中之街一力屋の世界

附 一文字樓持手管

柳さし廓の賑い今さいふとはちゐるまの
羽のちくらかさ紙いの花のものいふ中の丁秋の
夕ゆき炬燵簪雁額の影ゐるハ漢下の
織女りうこうこうひ淵出しのおぼふまふ

[illegible]
れくくとくるもしこと[illegible]知の古風をすてゝ
[illegible]ど育んとハ乃[illegible]寸代の風俗り
してゝおとゞんとのかゆ世ゝ[illegible]
乃[illegible]切ハ[illegible]背きもの渕淵を
[illegible]門ゝ[illegible]俄の引[illegible]
をつく[illegible]立ゝ[illegible]
中よ一方屋の二[illegible]と[illegible]

あさくさのとゝゞ川くむらさたちちんが
なりれさやゝ[illegible]のげまさがうらかけろ
ゝゞゝやゝ明六がくらまたろやゝ

由良 コリヤ〳〵その[illegible]をよこ〳〵九太えゝ生
つくるく梅くかゝひゞ是ハゞうゞゞ九太
ゞのハうゝるくゝつゝもゝれさゆゝゞ
ハ…むゝゝゝくハ[illegible]のゞけ狐ゞけ行ゝハて
一ゝこん二こんこんくのこんとのゝくをゆゝ

九太夫

中兵衛 モシヘおつんハ孫お醉まんしゑ
うゝとみりで風ゝ抜れゝ醉さゑ
しをなさりまセヨ 由良 よいもゝく辛ん
くゝとゝくりさ拙ゝ足のゝゝしい男ど
平左衛門 拙りますと二ゝんハおがんゝくゝとゝひのもの
ゝ由ゝゝゝ庭門の出入のもの 由良 てうづゝよまいゝよ 平作 おおど
なふごゝんまん 秀吉 まいゝ使せよ 平作 ゝ荷ゝ作て出ゝ
由良 イヤ 行ぶちひさいゝとひハむゝの事さい

このぬちてゝとゝまづゝひ行るまし おてう
ゝ ゝとひよろゝく 長八 おざうゝを 由良 ヨウト
よしくゝんるこ二階ゝよ居ゝます ゝとひゝろゝ
りゝゝゝんまんゝさいぜんカほゝゝとちゝゝりゝゝゝ町ゝ
ゝゝよゝゝみきゝゝれゝ庭のゝゝゝゝよゝすゝよんゝゝんゝる
丸ちまもゝそんゝゝゝゝ

ぬりてはへしその御くるまをまれうある　加州

はりかいの勘平が女房おりわしまう角アもくすまんこう物ちうかりゑ山うふろうゑ二ゑひとりおりうゑ

うゑ山　モシ〳〵由良さん〳〵モウおいぐちあんせん

う　由良　いまは世せう〳〵

や　九太が砕つく〳〵稲〳〵いるく〳〵引うひて

はれく来るの〳〵伴門いぞうしゑ　平右　也

まいつさつぐごぞりまん　由良　サア

トうきぞーうくさきあと

てちんだよく〳〵　うゑ山　アレせーく稲ぐぞう

ぞうちうぐひんしゑ　女房　モウいくらかあり

まいろソレおてうちん長八おとさとの

由良　こうゑ来るく　こんぞう　おてうちん　おてうちん　秀太夫　法蓮　サア〳〵

まいりまん　由良　さうよいぞうしゑ　秀　今

だんきのえうぐ稲はるさんの来り

よいまくり〳〵まいしゑ　由良　よりく

早さうゆしきのせろい今うさ

書ゑ迄れいすぐに床のせろい

九右ゑまが床

九右が孔方八ぢそう　猫むつ川　猫まねきのちりめんげさゆうるみより袖そでにひろそろハゆけあるとちそでけそらくろんつ
ちよなりトメの帯しくかころびさゆつよおろそよとそ
猫むつ　九太　コルくトゆすぶりおこす　猫むつ川　なんざんす
よくいぶりなんす　猫むつさふさんす　ハナ
九　用がいるうちちよつとおき猫　猫むつ川
だらしふをョごゆうざうざまつて
猫して毋ちんなんし　九　あがいつぷん
のこそく　猫むつ川　モウちつとちんぢうなんし

よるが明いと　猫むつ川　声でいふ　九　とんざ事をいよぜく
まぢハつめくぢのどがかちひくなる猫
猫むつ川　ヲヽモだらしひあんぢョウリト
ゆうろくよ出くれ　猫むつ川　アイトまつてうまくあをあひてこ
どこからいつくちまふ
九　いまくしひゆんつぢトそれうまぢこくふた
よりうこうすぢ
うう猫ろんだりくぬどをあんでうんくりあるまふ成
なぢくんくうこうぢゆうぶのあををんくうり猫りどをいれ
さりこきこうりぬどしきこちらひのゆうる猫ぶりこをう
うすうちくぬどこのゆんもきくセつのこくんまつり猫すの
男あぶくをつぎよくる　九　コルくト　男　ハイ　九　ちよつと吸付て

ことらくてんとしきをるげくゆる 男 ハイト吸ひて出し まやすく
なたちうまト母くの方分 九 どこくいさやアがつさう
ト此時間いさいよくくちゝうげざちやゆ辛ちうげざーきくり
おこすず辛たちつがあいうさゝづ稼くつまくくるる
いさこの 孫むかさん母わくもいやさらふりれど
弟やのめくもを南良さんのめくもきの
ごくぐるうはくめくゆんるんー 孫むかし
なるぐさんーくおくんなんー雪よりうう
かるっきーいぐるうくだうりありイさアな

なんのゆんぐいぐるしのウトぬせうくいらうりうをいひるうきくうり
孫むかし ナセ 宮くまくゆるんをいうりちくは出
なんートるをつくくりうくゆくり 九 まやくいるをびさひ
ちうりつまゆくり 九 コ
しひうくきくのくトもやのうくりうをれ
るやくいうぐせそのやうるはんくすふ
ちーまうりハうくひうるぐせく 孫むかし ちくアへ
かうくひうくまくるやいきつひきくうひざんを
九 きかひいいそはうーるまやくぐるが

吐しゝのちんざう さ 移川 こゝは四ろ
ちんそうさ 九 扨いつんがむごゝろと
いひたけさが 移川 そんるむつりひる
いぞへいせん 九 いゝ娘そんのそとく出る
せくよぎの中くちりとこつゝ移へり
さむひぜく 移川 出てそよふざんす是
がつこゝがかつまぐさんすゝゑ
まつくぬく扨んなんし 九 そう

いつたをまちいんん 移へトむりよりまする 移川 ヲモ
いつよざんすでゝしひ 九 そんゑゝ
そんとせよ 移川 つこゝハかゝゑぬす
とつまゝまるのハきろひきゝひでん
すごゝやうざうゝそりちくよりて侍
やすこゝろんしくく扨んなんし 九 移
なしのゝりこひ入ゝくんくとしてゝこけの
もいつたちんこ扨きゝゝりこまゝまくゝとこのゝ
しりよせひ 移川 目とごちくおいくゝんくぬくいん
とり泡とのむ とりぬつびこゝわとけと移りしゝやゝ

みりく成てゐる

平右衛門つぐ庶

いさこの　さあとてたんそうたのけんきの平右衛門つぐいきるきあんたさてふまんさてるきやうすおいそんのさしたぐ祖母すんまをそぐむものおそうとすぐらうらと来りすりそであぎゐぐ〜だらくらうとまんそうめそへとだてまじ成へうてたい

トまんそうめそへとだて

物やすそなんしぬろ

平　そんちゃうういふよきぬそんの中へそうきねくそ祖つそれやせん　いさこの　いいそんをそんぐそそのくもいうそんやーふうさと庶へくへ

ようそりくねだそんくそのぬきたいをゆびぐかんでく見へく　いさこの　ぬーやう

いそりぐ有へうちゆーふ　平　かてそうんうんしー

いさこの　世人ぐんーゆう　平　それどやア素ねん

明ゆうとうふそんぐうナセサ　いさこの　ゆーぐの

いくよ　平　ゆーぐいくそうやア綱りうまふで

ねぐぐはきをそく　いさこの　ようぐびをいくなんを

平　げびハぐを当すけるどやア祖へろ　いさこの

ねぐそーアなんぐんすく　平　ゆめーゆ見いそき

いさこの　ヲヤ　はゝ　ゴヤ　アこんなそうもうしすゝく
末　そうさ　いさこの　わんざんすゝく　末　わんざん
すゝくもやア　戸棚のよまあがつて　いさこの　ゆざん
りたゝ　稼　いつゝんなんしてゝ　末　ゝん稼　りの
ろ　いさこの　アイゝん稼　ことのさ　末　ゝん稼　のごもてい
どとゝいゝとゝをゝてゝゝ　いさこの　ゝくたゝれる
んゝと　末　たゝれるうきゝ　ゝがらまゝゝ　いさこの
ゝとうゝなんゝ　末　とゝゝゝゝゝゝのきゝく

いつらゝゝがゝゝゝとゝてゝゝ　末　くゝゝゝ
らゝゝろ稼　いさこの　ゝうゝざんすのさ　末　ゝ
ゝゝ稼　ゝゝゝ稼　いさこの　ざゝゝゝゝゝざん
すいゝゝゝゝゝゝゝ　ゝくさんのゝゝゝ
ゝとゝ稼　ゝゝいゝゝゝゝゝ　末
ざゝゝゝざんせん　末　いつちがくゝ
でゝいざゝゝゝ稼　ゝゝゝゝゝ稼
いさこの　うらざくいざいせんゝゝいつゝ

あぶらをうとをはくせ、うちんぼ
きし消やうの いさこの わんさんすよ
平 わんこの事まあせよ いさこの むざーや
さんせんワるこそまかしいやうこそうハ
ア毋うきんがざんを 平 母めくよこそう
いれちやうちんとうすの為ひぶ祝ふ
といまを極法も何れくるきぶ いさこの
それをワるを待ちんする 平 何とれる

とんざとそそーるなんぶ（九文きりぶりく）
ゆいさこの稼ぎ門ぶりぶ九文稼ぎ 平
家々母やちざかるとるとよこのうよ乃
いやぐるもむりハ稼ぐ いさこの それぶり
てそそこの法こめ乃 ちんがうざハす
平 母めくもはこめのちんがうでおりせく
いさこるのり いさこの ちりいせんちんまる
すこなんー 平 ちるまやど稼くあるふ
をのを いさこの そんるなんまやんを

めくとまてるかりひぐらとさーりよせくよきくをりうけはまてくのちまるあとギナくく

由良く助ぐ床

りるこのやうまうふらも行くくちひてうつようつてうくう
くてうふあんどおいくんかるりまくえぐかんぐるぐくく
ねくくくれのんくるる

由良 どうぞしらぬうでへ嫁いうが
ちらいせへ

かるり アイサ二三日抱まんまぐえ
らまへせんよ

由良 ムム…さんきくくるめくあ
いふくちうくつちれくまう行くぐちらうと

ちあまきよいつくさがろりんてうよきうあ
うけおとそうくんていちるれり喜
ちるよこんやムを合つくさくうのとのあさ
こつちくくふくんぐくさ

かるり エ…トあつくりあまくくく

さいりぬていぐ
ろくくをくく

抱りりからくふざんす

由良 りみて紀年り
まをまちくるくちくぬりりくうりりそんていと
ふんぐけーくりそうけおーくそくりてやくんくれとけそ船

かるり それいうまくーふざんをくいくせくくお
いくくくひなんーあうてる

由良 うそくく

出てくまつとこさ　トうまこれ移りしあり
ものうすと思て廣間の　ものうすとそんる
外らくひろうを　かる門　由ゑにあの
ぜんくの　扨まくのはちかんぜん
てもりもそれハいろくいせん行もとこう
けるさ扨まくあおあまくやいせんハるる
くーこのはるこぐざんすがかんまんて
おこんなんーけるさくハ動平さんと
いつの男のかりいそゆくおまくさんよ弟
うきの今を出させどうまいのおまくを

はるぶくく動平さんせよ扨まくのりや
を出さてまこび紀平さんよ立てこび動平
さんあ乃を立まこび扨まくをはるぶとと
いつくく扨まくる中くく町ぐくそうぐんあん
くくそれぎりよやめなんときぜん
でとなくーうくんえ出ーなんくーる
平今まくーいつもちがつさ平もざん
せん今まくハ扨まくの気よちくつさ

まもなくせんぐが題だらう、ゆるしく
ねんねんしておまへのくるまを立て糸
さんのうほうを立今まづくのおんぐー
ふりさくーわるんぐ、たまいとそうぐふ
ぞかりといくたひなんとあるけりき
おきよりのみ茶町のそさんかうさん
とんはしひぐくまつくねんなんー
トもあるへあの
みなもかうやさん
とうりくうきぐわいせを

男のうちぐらちうまのがくけるうく
人をあけてもまもせびタクもあるまも
さんがきあんせびせあるく今のこひまお
いくきんくりかりに三日ひとよ
ねぐさんすそれよりこのだうもかくさんの
きあんくきまくつくふこあん
すよいそあるこいつこれよりひまれ
ねりくまやさびかをとこをつまく

ちうひとゝ[illegible]はいた[illegible]ぶくろ[illegible]
くらく[illegible]
[illegible]丸ゝと[illegible]まちのたんごん丹ハそるゝ
[illegible]いくさりぐやわぞうのゝばゝや
ちゆんなとゆ川ぢん[illegible]りちいさいたの
ゆうよたんゝくたんゝかゝくんのんの
わどぐ[illegible]おもらまんさうわゝぶくぶぐ
たわゝぐゝまゝゝゆ川ぢやゝたうゝ川く
おくんなんすあくゝと声をかゝゝちのびゝき
たゝ[illegible]

[illegible]ゝゝゝ[illegible]
おさゝばぐぐざんさを[illegible]ト[illegible]
[illegible]より 由良 コリヤ まてたやまう[illegible]ひそ[illegible]
まが[illegible]ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

ぜうこ、はけ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
ぞれどてい〜ゆ〜ゆ〜ゆ

せ[illegible]
[illegible]
[illegible]

八回　[illegible]

[illegible]

[illegible]

出てうさらく（何のよりい）町のいすやの船頭
小助 魚めさんヲヤ小ゆるとこさんごけいきゆる
狂言 くるとんのんさんへめくくくのそひて岩さんようト
ぎきとすりふ 安 あくるのくるとあんたいくるのくわどるの船
わるひのくるくる大川へ出る
小ゆるヲヤ おうをどんさんるあふごさんがんくるヨ
和くらかおるを 和くらくる狂言 ろふらくなぎごさ沖へつりみ
いきさく 狂言 ぬごようそごさら 狂言 さそのうハ
さとさとくる日すくくる是くる船の中ぐふくくる

十六

京まぐくの地口とくわつさご 小ゆる 魚めさん狂
とさごめ和くすとこのくるみぐく 魚狂言 なんでもつくえ
魚とのが一ワ完のこそつとまづかんだくふくごう
わそくぎと 狂言 ゆ井ハ分を出すけく 魚 おきた
乃このくる四ワ日でくう 狂言 ぬだくりめくしよハさ魚
くるよ 魚 ちくうかるかや出さなくく 狂言 まく
さくく 魚 つりヤ一ワぞん 出ゆ 陸とのさくふごも
一和くる 魚 山めさんきんひさとんごさしてと

[illegible]ぐハ同じく 小みこ ハ、、、、、 浪 蔵乃さきあや今
ハあぐれく 魚 さまぐ乃きろみ 浪 かるや
ゆんぜん 小みこ ようイよ 魚 まつさうえちやう
うんとこみトみ 小みこ 小みこ 小みこ 浪 かき川ろん蔵
魚 ふく病井ひしゆ乃さきの乃ゆ 浪 えん台
さづ〳〵こんぐ出る 魚 大国松乃だんてん
魚 まい坂だん門 浪 あゝるそゝこ乃そんや
ぐの 魚 ちゝとゝいがのち 小みこ いりや なんぐ〳〵

魚 ゆつさ乃実ま乃さ 浪 「ゆつさ川」の八まんぐ
魚 よ〳〵田乃ろ乃ゆろくあゝよ 浪 おゆ乃
きもきぐのゆ 小みこ ことゞきもぐ猫 小みこ ふゝし
魚 ゆの坂やこのゝ〳〵ふゝよ帆をなげく 浪
ゆゞ川よゆきんぐ 魚 ゆつされよむくハさが
ふんんぐぐ乃ぐいやゝ 浪 ちゝふ自
怪ぐわゝこのと 小みこ なゝみいのゞハきの
ゝめやろる 小みこ ゆゝりさんハをんゝぐ乃わき

ぐるぐるぐるぐる　魚　ちちち

[illegible]ぢ[illegible]ぬ[illegible]ぢ[illegible]ぢ[illegible]ぢ

[illegible]十さんもさきへいつてゐるぞ

七 おつかくさんもくるふう 長 そうぞうしい

ハイさようなら 七 るんるんぢんわど 西良

ムこころ〳〵一つどのへくいきをばつよ

トこころ〳〵ナシト 本蓋アノかもとこちへ〳〵

うくふ

のまつしやう 本蓋 ハイそれはようご

ざりやせう トぐるへくとりざをとりつく 小一 ちと

おやすみなさう 西良 さうれの出

[illegible]

おくりの [illegible] 表の方より

小さつまを 本蓋 モシ西良さんのおやかたは

こさりますか 長 ハイ [illegible] 出る 本蓋 力

[illegible]

[illegible] 本蓋 おそうるせへ

トさつ [illegible] 通 お石 [illegible]

よく [illegible] 雪よごこ [illegible]

[illegible] ト火だち炭を

つぎて [illegible] 本蓋 [illegible]

夜今日八ツ時分お宿ごとりまする

【丑ノ】アイサまづきのふ出ましてまいせん

所行〳〵門ぐちまでおくりまして寝くねる

らまるまゝゆうくりまくでもしてかる

でぐちかんなさるおぢよりらふかほが

くりのわぢまぬくゝくとちうう

むひでもこりぎをゆうりふかんなさるが

よう〳〵ふとえひすてくわくかけ二人いさしてかまる

【おりを】おりくごうし

なるまる【小さこ】さてもいせひかさんよあまれい

くりやせんとはしくるとこそくこのうくあやうりうん

しきをきくざるをうぶりうをとものぎのみろ

せやのかるをきくわるゆかゆうすわんと墨でんのこと信

といかさくぐ立ぎくずる【おい】又ぬくくサアくさむひうう一つ

いろくれと茶のさんぢうめちつぶ蓋作

もたてしとちち出行〳〵さるれが

何まなひまなんぞんよゆうん

とのぢやトいう表よりかすると【午】本蓋が清さうる

[illegible]

[illegible]

なんぐ[illegible]ト　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

その 伊勢やぐらんどうげ[illegible]

[illegible]ちつとよう松と遊しゃ[illegible]

きゆ[illegible]やどやおすもおきなせ[illegible]ふいの乃

こだんらんいこだまつるよさやくこしらへ

てもさつがいつおらうらいんつでと

いつちはそひ 義こ 伊勢よりしまつよけがと

こせ行くようて遊びせろョ 伊 アイく 義 お

そ乃きりのとこしゃトこんぐらく

トこそのおうようへのげいしゃよきせつさおのうん

[illegible]はまきはまきはまきは

そうしつくきをつくり抜きや その侍者が
かくれうりまゐりまゐらせうよ 和十 見れさん
ちゃうを抜いがんなをせくまし 義 ム、
おやごきせるくゐぐこを おやと なぐこと
入ってるやアごぜくはせん その あ乃
そこ乃なぐこ箱を物しくいをや
義 そうくゐぐこ入ってるのぐがおちで
うち地内乃ちひすやゝあをそよそて

来さおナちとをめくるふをはける
ぐいつぜくおうアあつうちまへやー稲、
ぐこナ人日の如宮ちゃアちさナセ
ちうこ西くこ二度のよくふやアまめく乃
なりだうでことナこゑもかうふ
おナ アイトきをひ稲くかう 義 おさんがやうふく
らげくよでる出ちうげくぬんよちふ
うふぜりんよおとのまで向ふう

かゝこ移くろこうもおきてさもこうこと
はぐこのこの山てうや世ゞはきねく【その】
どうまいりまもおいーろんごぜくせん
おりるさんぐくーろなんーが引こん
ぐぬじゆア移くろおナ【おナ】なのろれおい
しいるひとつくゝ世ゝひあのろ乃
わうくゝこふらへてゝごぜくまこと
【義】そうゆアてうゝ徒のちよあやど

でをおナてる湯くいくゝ時ちろつとてる
ゝゝ見ろうトいふおすてう【イ行】うちうの【義】
ろ行ろんぬ山ぐんよせくゝ【イ】はつとちう
なぐすくゝとゝ移くぐぬのゝるれるをおゆく
のゝるぐろ
かくゝんろ気ろゝとゝ
ろゝきろれてろうぐゆんゝくちきん金
へうくゝくまるどさらのの【義】ろろもろう
記ぬじゆアりくえるちりゆくを移くよ

いつまでもそれでよずんかくやせふ
三味せんハちんそまえくかの手いらん
ぐつぬぐさ 子 十四ぐずいぶんちんこア
三味せんともしく実ニさまうがごう
せつぐア ぬらすすれバらとすあさゲ
ぬやぐちがらてんしゑくげいしやあら
出ものとらふそれぐおわくよ味くさ
ぬ所ようれバ十四でて大がらぐぬられん

ぬぐとい下ぐいうぬ買くといつてまうので
答 それでいくくまくといの 丑 七まてナよ
夜 寅 いくゑぐさ四三ゑんいけいぐの
ちんぐのとなんちまなら猫ハナあバ
ぐるぐ 卯 ニアちまていろはれてきくんせ
うトいうまひ 辰 アイそんあくト鍋何のがう
ずくさまうけさぐるかくまてあ猫ハ
その それぐくとねくぬくようる

せんとういつきのさ　義　おまごむすめにきつく
その　おやくかあんぐりと出るさうう
つこーぐてんくせるとんちやう
ごぜくせん記とりづくもふくるそど
あんさうさ　義　だうらぐうめなんぐ飯や
をこれくわるそれぐ毛ゆうだくぐゃ
ぐつくぐぞちのくまと　でよいる
やうなんぐそいふうせるぐのゆつ

まくぐのく　その　ちあくを今ひとんぐな
ちつと門まわくせ話をしくうんなせく
そちちちちてちちつもうひいるぐ
ふなりれそのとかのこまぐかくれ　ちとこ　おきさ　ハイぐん
れさんくで今　義　ぐくぐ毛をひ　ちとこ　ぐぶ
ぐのおそーなくおいよさんくまつます
くくくおさなくさんくおくまよさんよいつく
せう天さなくくくまよまつます　記
おせさん松やくうほを出しくなう　十　今よ

[illegible]

やど　おナさんそうちゃ　きこえ　伊勢どんそこを〆

[illegible]

義　おなじくと入る　いつのひかおもいだすほどさ

けいや　ヲヤ　えんつくつまらぬ　由良

今来るさいなんまりぢ　ちうぐうく屋風の品へ

[illegible]

[illegible]　義　ヲイそこへおいくやせへ

[illegible]　由良　コイヤ　[illegible]

[illegible]

[illegible]

さんよかんきゆうぐんしそうぐまき
すそうとなりめくとまとがらつよ
平太郎が生れ出るとんだ義さに
ふもとをもちひ米トいふものをつれて
くる海ほうたうたさうろ
成と 中良 附よく中の町へよろ行べきなぬ
そろいよくこのうちよりきふふこんな
ぐらひ合くる聖やの宜めをとらだうて
中ろりりぐろとの世ほとんだまらぐひ

なろくろものこりすじんだ義それへ
だらよせんごせんほせん中良そんろう
ろあろうぼ義めちろ中良中の町ぐく
義おとろやーーー

かりくらべすれば大一番めんく
[illegible]かりくらべたるに白きつゝの高
さ五分中くらゐの丸屋さーくもりけり
[illegible]四年の春んコレこんなにいつまでも中の
[illegible]ていつゝみよく。ヨット。すでに直ぐきんぶくきくら
[illegible]ゆきとんまごとんやすく
[illegible]んをいくらとうるとうる
大ぶくきくやくるまくらくとおもふ家内の
くらのまるまんまるたのぎをくらきおんつとり
そんれくまるやくぐとてくをおくすると

くとゆくぐらいふくるよくぐくらくさ
よる四十余人のあんくハ物をさーてぐ
さくらりくる[illegible]ナンダ中良ぐ一吐ぐ大ぜい
くくまるおまをあぐるちくすんぐくらの
遠くくめんぐくぐくるをとくくくふ
つくぐ酒を出くくるもおぐくぐいるトわどるくるみく
[illegible]くくくくるくるくる

[illegible]
[illegible]
[illegible]

出るとヤ　ヨイサくとつきたるすると　直ラ　せちもく　由ラ
まぐまぐヤすまめくこんやハ夜もふまさうう
こんなるすまたのうめぶひまてあるうう
すぐおいやらうたもれ川くうこれまつまて
いうあけはあるのねくこんなぐたうぐやあて
めくうの　大母ん　ようどぐうまもうあすの明日ハ
ごぢりまんぞ　引　ありてのうさまうう
バタくバタンバタくバタン

自跋

描いて色々の通ぜん祝ひて傾城乃座
まんけかんけの合言葉も一物指のあるハ
もやふいまのようぐーやせんさてみ新小
さうる通神義ハ旧鼠かつく祝こと喰の
いぶつ嵐も分上よ穴とあるれ芝とのぐく
まやのぐ戯場の忠臣義よりごつきをぶる
勧善懲悪のそしこれもとうぢのつ

御ぞうしあやまり　男之助（おとこ）　嵐（あらし）
ちゝぶんだめ　ふとくてふとのこまゝ猫（ねこ）ちんと
笑ひめつちふていやみ　銀山（ぎんざん）　印（しるし）
ろんけ
本家あつもぐ　きりへみ　きるし

蔦屋